

保健体育科

学年	学習状況と課題分析	具体的な改善策
第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ チームやペアになったの活動で、主体的に行動できない場面がある。 ・ 個人の運動能力の差が目立っている。 ・ 学習カードの記述では、授業の気づきや工夫ではなく、感想や行ったことの報告になっている。 ・ 基礎体力が全体的に低い傾向がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育係がクラスへの声掛けをし、全員で授業を前向きに取り組む雰囲気を作る。 ・ 運動が得意な人がアドバイスするなど、生徒間で協力して学べる場をつくる。 ・ 授業の始めに本時の目標を伝えて、目標に向かって取り組むことで、工夫や気づきが多くできるようにする。 ・ 毎時間補強運動を行い、学期末には体力テストの項目から確認する。 ・ タブレットを使って調べ学習を行い、運動の行い方や体のつかい方を動画や画像でも見て、自分の動きに活用していく。 ・ C評価の生徒に対しては、单元ごとに課題と手だてを伝える。また、個人の課題や成長しているところを伝えることで、意欲を向上させる。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育係がリーダーとして、周りに声をかけることができている。周りも体育係に応えようと努力している。 ・ 個人の運動能力に差があり、運動が苦手な生徒の遅れが目立っている。 ・ グループ活動では互いに教え合う姿勢がみられている。 ・ 基礎体力は全体的に高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単元でグループで教えあうことや、タブレットを活用することで自分の課題を見つける時間を作る。 ・ タブレットを使って調べ学習を行い、運動の行い方や体のつかい方を動画や画像でも見て、自分の動きに活用していく。 ・ 苦手な生徒へ、運動が得意な人がアドバイスするなど、お互いに教え合う環境や雰囲気を常につくる。 ・ C評価の生徒に対しては、单元ごとに課題と手だてを伝える。また、個人の課題や成長しているところを伝えることで、意欲を向上させる。
第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育係を中心に協力し合いながら授業に取り組んでいる。 ・ 個人の運動能力に差があり、運動が苦手な生徒の遅れが目立っている。 ・ 学習カードの記入だけでなくメモをするなど意欲的な姿が見られる。また、授業中の気づきも多く、自己の課題にも意欲的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育係が中心となって主体的な取り組みができるように、それぞれに役割をつくり、それを確実にやっていく。 ・ 運動が苦手な生徒には、基礎から学習することや、グループになって教えあうことで基礎体力や運動の技能を向上させていく。 ・ メモすることに集中しないように、活動の時間をはっきりさせることでより集中して取り組める場を作っていく。 ・ タブレットを使って調べ学習を行い、運動の行い方や体のつかい方を動画や画像でも見て、自分の動きに活用していく。 ・ C評価の生徒に対しては、单元ごとに課題と手だてを伝える。また、個人の課題や成長しているところを伝えることで、意欲を向上させる。